

令和5年度 学校経営方針

校訓

「明朗」

「自立」

「希望」

学校教育目標

児童生徒の命と人権を尊重し、一人一人の教育的ニーズや発達段階等に応じたきめ細やかな指導と学習指導要領に基づく適切な教育活動を推進することにより、日々の生活の中で「生きる喜び」を感じさせながら、生涯を通じて豊かに生活するために必要な「生きる力」を育む。

めざす学校像

- 児童生徒の命の尊さや人権を尊重し、一人一人を大切にする学校
- 児童生徒が安心して明るく生き生きと学べる学校
- 地域の特別支援教育の核となる学校

めざす児童生徒像

- 心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒
- 思いやりの心を持ち、心豊かに生活する児童生徒
- 夢や願いに向けて挑戦し、社会に貢献する児童生徒

めざす教職員像

- 児童生徒の心情を理解し、児童生徒と共に歩む教職員
- 肢体不自由教育、重複障害教育の専門性を追求する教職員
- 保護者や地域から信頼される教職員

学校経営目標

- ① 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えるきめ細やかな指導の充実と発達段階等に応じた学びやすくわかりやすい授業実践に努める。
- ② 社会に開かれた教育課程を目指し、児童生徒の実態に即した教育課程の編成に努めるとともに、小・中・高の一貫した教育の推進を図る。
- ③ 幼保等・小・中・高等学校や医療・福祉等関係機関との連携を図り、卒業後の豊かな生活につながる指導の充実に努める。
- ④ 児童生徒が明るく生き生きと学べる教育活動の創意工夫を図るとともに、安全・安心に活動できる教育環境の整備・充実に努める。
- ⑤ 地域における特別支援教育のセンターとしての機能を積極的に発揮するとともに、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
- ⑥ 全教職員は、研修に励み、専門性の向上を図りながら、融和協力して教育目標の達成に努めるとともに、働きやすく明るい職場づくりを推進する。
- ⑦ 限られた予算の有効かつ適正な執行に努め、保護者や地域の信頼に応える学校経営を行う。

本年度の努力目標

- ア 主体的・対話的・深い学びに向かう授業実践と授業改善の推進
- イ 社会に開かれた教育課程、児童生徒の実態に即し、小中高一貫した教育課程の組織的・計画的な編成
- ウ 校務支援システムの円滑な運用と教材のデータベースの利活用の推進
- エ 各教科等の指導やオンライン授業など、ICT機器の利活用の促進（実践事例の蓄積）と情報モラル教育の充実
- オ 医療的ケア、アレルギー対応、学校給食、舎食等の安全・安心な実施
- カ 日常的な安全点検の実施と教育活動中の事故「0」を目指した指導・支援の充実
- キ 感染症予防対策の徹底と非常事態を想定した危機管理の推進
- ク いじめ・体罰・不適切な言動「0」の人権を尊重した教育の徹底
- ケ 進路実現に向けたキャリア教育・職業教育の充実（キャリアパスポートの効果的な活用）
- コ ICTを活用して就労するために必要となる指導内容や指導方法の充実
- サ 児童生徒が主体的に取り組む各種行事や児童生徒会・舎生会活動の推進
- シ 「訪問教育の手引き」の活用と重度・重複障害のある児童生徒への教科指導の実践
- ス 生涯学習や余暇活動、障害者スポーツ・文化芸術活動の契機となるような教育活動の充実
- セ 校舎内外の清掃・美化や整理整頓、施設の安全管理等、教育環境の充実
- ソ 校舎の改築・改修工事の安全で円滑な実施
- タ 特別支援教育のセンター的機能の充実と校内支援の推進
- チ 本校教育の広報・理解啓発の促進（ホームページの更新、学校だよりの配付等）
- ツ 交流及び共同学習の推進（近隣校、居住地校、地域との交流の充実）
- テ 専門性向上のための取組（各種研修・学習会の充実、外部専門家活用研修・特支免許取得・外部研修の受講等）
- ト 舎生一人一人のニーズや課題に即した指導・支援方法の充実と、指導員間及び担任・保護者との連携推進
- ナ 働きやすく・働きがいのある職場づくりの推進（働き方改革の推進、超過勤務の縮減等）

